

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 感動創造支援本部本部長 (氏名) 三田 則男 (TEL) 052-551-0274
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,807	20.3	130	△2.6	134	△3.2	89	5.4
27年3月期第3四半期	2,334	—	134	—	139	—	84	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	168.20		—					
27年3月期第3四半期	159.14		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,160	3,778	73.2
27年3月期	4,992	3,727	74.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,778百万円 27年3月期 3,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
28年3月期	—	30.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,672	15.3	156	19.7	157	16.9	104	0.3	195.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	540,000株	27年3月期	540,000株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	8,943株	27年3月期	8,823株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	531,129株	27年3月期3Q	532,762株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や円安等の影響により企業収益が穏やかに回復し、設備投資の増加や雇用情勢の改善傾向が見られたものの、中国をはじめとする海外経済の下振れリスクが高まる等、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、サービスの一層の充実を推進し、ご満足いただける映画・商品のご提供をすることで、お客様の「感動の創造」に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は28億7百万円(前年同期比20.3%増)、営業利益は1億30百万円(前年同期比2.6%減)、経常利益は1億34百万円(前年同期比3.2%減)、四半期純利益は89百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

なお当社は、平成26年9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併し、非連結となったため、前第2四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しております。そのため、前第3四半期累計期間には、中日本商事株式会社が営んでいたリラクゼーション事業及びアド事業の平成26年4月1日から平成26年8月31日迄の業績は含まれておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【シネマ事業】

シネマ事業におきましては、洋画では「ジュラシック・ワールド」「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」邦画では「HERO」「進撃の巨人 ATTACK ON TITAN」アニメでは「バケモノの子」「妖怪ウォッチ」などが高稼働いたしました。また、映画キャラクター商品、飲食商品の販売促進にも一層注力し、売上向上に努めてまいりました。この結果、売上高は19億77百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益は1億27百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

【リラクゼーション事業】

リラクゼーション事業におきましては、競合店舗が多い中、近隣の顧客開発を強化し、引き続き地域密着型の運営を心掛け、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図りました。しかしながら、若干の改善が見られたものの、近隣の大型施設進出の影響を受け、依然として厳しい状況でありました。この結果、売上高は5億84百万円(前年同期比117.9%増)、セグメント損失は15百万円(前年同期はセグメント損失1百万円)となりました。

【アド事業】

アド事業におきましては、得意分野の映画宣伝や関連サイン工事をさらに伸ばして売上の上積みを目指し、積極的な営業展開を図ってまいりました。この結果、売上高は2億46百万円(前年同期比142.1%増)、セグメント利益は18百万円(前年同期比53.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は51億60百万円となり、前事業年度末に比べ1億67百万円の増加となりました。これは主に流動資産の増加によるものであります。

負債は13億81百万円となり、前事業年度末に比べ1億16百万円の増加となりました。これは主に流動負債の増加によるものであります。

純資産は37億78百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月13日公表時から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	558,114	571,289
受取手形及び売掛金	117,565	141,542
有価証券	310,247	410,286
商品及び製品	6,533	9,508
前払費用	23,194	23,072
預け金	71,365	66,658
繰延税金資産	7,678	7,678
その他	4,146	213,498
貸倒引当金	△823	△993
流動資産合計	1,098,024	1,442,542
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,868,359	1,758,932
構築物（純額）	62,668	53,999
機械装置及び運搬具（純額）	182,096	150,541
工具、器具及び備品（純額）	50,436	54,923
土地	669,168	669,168
建設仮勘定	5,644	5,644
有形固定資産合計	2,838,374	2,693,210
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	94,640	70,002
無形固定資産合計	95,788	71,149
投資その他の資産		
投資有価証券	323,334	315,496
差入保証金	632,310	634,730
長期前払費用	4,490	3,157
投資その他の資産合計	960,135	953,385
固定資産合計	3,894,298	3,717,745
資産合計	4,992,322	5,160,287

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	289,199	322,617
1年内返済予定の長期借入金	131,196	120,695
リース債務	55,406	56,243
未払金	4,322	4,581
未払法人税等	5,649	39,554
未払消費税等	30,407	-
未払費用	53,431	64,493
従業員預り金	5,098	4,402
賞与引当金	14,814	7,050
その他	32,030	261,737
流動負債合計	621,556	881,375
固定負債		
長期借入金	87,896	-
リース債務	126,788	91,473
退職給付引当金	65,884	60,512
長期末払金	40,000	39,500
資産除去債務	53,806	54,727
受入保証金	215,868	203,574
繰延税金負債	52,782	50,350
固定負債合計	643,026	500,138
負債合計	1,264,582	1,381,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	377,847	345,979
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	535,802	625,136
利益剰余金合計	3,361,150	3,418,615
自己株式	△66,523	△67,547
株主資本合計	3,564,640	3,621,081
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	163,098	157,692
評価・換算差額等合計	163,098	157,692
純資産合計	3,727,739	3,778,773
負債純資産合計	4,992,322	5,160,287

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,334,226	2,807,967
売上原価	1,200,441	1,399,330
売上総利益	1,133,784	1,408,637
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	28,169	35,397
人件費	304,842	407,611
賞与引当金繰入額	6,843	7,384
退職給付費用	2,692	4,254
減価償却費	134,842	174,156
地代家賃	256,290	289,272
水道光熱費	83,326	129,901
修繕費	2,693	8,252
貸倒引当金繰入額	-	170
その他	179,669	221,295
販売費及び一般管理費合計	999,371	1,277,698
営業利益	134,413	130,938
営業外収益		
受取利息	1,181	319
受取配当金	4,442	4,625
協賛金収入	-	1,800
貸倒引当金戻入額	874	-
その他	4,763	1,868
営業外収益合計	11,262	8,613
営業外費用		
支払利息	4,095	2,343
その他	2,489	2,608
営業外費用合計	6,585	4,951
経常利益	139,090	134,600
特別損失		
固定資産除却損	1,666	161
抱合せ株式消滅差損	3,455	-
特別損失合計	5,122	161
税引前四半期純利益	133,968	134,438
法人税等	49,186	45,104
四半期純利益	84,781	89,334

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーション	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,964,256	268,157	101,811	2,334,226	—	2,334,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,964,256	268,157	101,811	2,334,226	—	2,334,226
セグメント利益又は損失(△)	123,616	△1,485	12,281	134,413	—	134,413

(注) 平成26年9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことに伴い、中日本商事株式会社が営んでいた、リラクゼーション事業及びアド事業の平成26年4月1日から平成26年8月31日までの業績については、含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーション	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,977,303	584,226	246,438	2,807,967	—	2,807,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,977,303	584,226	246,438	2,807,967	—	2,807,967
セグメント利益又は損失(△)	127,401	△15,360	18,897	130,938	—	130,938

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。